

想定外ではすまされない！
地震災害

液状化被害の現状と今後の対策
地震災害に対する法律見解など

無料セミナーの ご案内

6月28日(木)13:30~16:30
とかちプラザ 定員100名

JHSが工学博士や住宅専門の弁護士を招いて地震災害に関する無料の地盤セミナーを開催します。この機会にぜひ、ご参加ください。

『危ない住宅地盤の真相と東日本大地震における液状化被害』

講師 大和 眞一氏(工学博士)

わが国の戸建て住宅は沖積層と呼ばれる軟弱な低地か、洪積層と呼ばれる良質な台地のどちらかに建っています。住宅の不同沈下事故はどちらで起きるか。多くの人は軟弱地盤でたくさん起きると思っています。しかし、近年は良質な地盤で多く起こっています。この真相についてJHS社60万棟保証の中から実例で説明します。更に危ない住宅地盤を容易に見つけることができる最新の『SDS調査法』についても説明します。



一方、東日本大地震では関東で2万戸の住宅が液状化被害を受けました。このうち浦安市だけでも8000戸、千葉県全体では12000戸もの住宅が不同沈下しました。

「液状化」なる用語は昭和39年の新潟地震で川岸町アパートが多数転倒したときからはじまります。これ以降はどのような地震が起きても必ずどこかで液状化は起こっています。

ビルやマンションであれば支持杭などを使えば容易に対処できます。しかし、戸建て住宅ではどうすれば良いのでしょうか。今回は浦安市の被害と、どのような対策をとっておけばよかったのか、などについて説明します。

『住宅業界における地震災害に対する法律見解』

講師 秋野 卓生氏(弁護士)

地震災害、そのとき私達は・・・

地震発生直後から住宅会社の皆様より様々な法律相談が法律事務所へ寄せられています。そこで、地盤に携わる仕事をしている弊社として住宅会社の皆様に地震に関連



した法律相談の内容とそれに対する法律見解を住宅業界専門の法律事務所 匠総合法律事務所より代表弁護士 秋野先生をお招きし、ご説明させていただきます。

- 【講演内容】**
1. 「危ない住宅地盤の真相とこれを簡単に見つける最新の地盤調査法」 13:30~14:15
 2. 「東日本大震災における液状化被害と対策について」 14:15~14:50
■講師: ジャパンホームシールド株式会社地盤研究所 所長(工学博士) 大和 眞一氏
 3. 住宅業界における地震災害に対する法律見解 15:00~16:30
■講師: 匠総合法律事務所代表社員(弁護士) 秋野 卓生氏

主催 ジャパンホームシールド株式会社(JHS) 協賛 ジャパンホームシールドFC帯広店 株式会社東成

日時: 2012年6月28日(木) 13:30~16:30 (開場13:00)

場所: とかちプラザ (JR帯広駅前: 帯広市西4条南13丁目)

定員: 100名 参加費: 無料

お申込方法 > 6/21までに本紙ご記入の上 FAX願います。(FAX: 0155-22-6245)

6/28(木)「JHS地盤セミナー」

会社名		役職名	
フリガナ		参加人数	名
お名前			
TEL		FAX	

お問合せ先 ジャパンホームシールド FC帯広店 株式会社東成 (TEL: 0155-22-7679)
ジャパンホームシールド株式会社 札幌支店 (TEL: 011-330-1765)